

樽前山

1 平成16年の活動概況

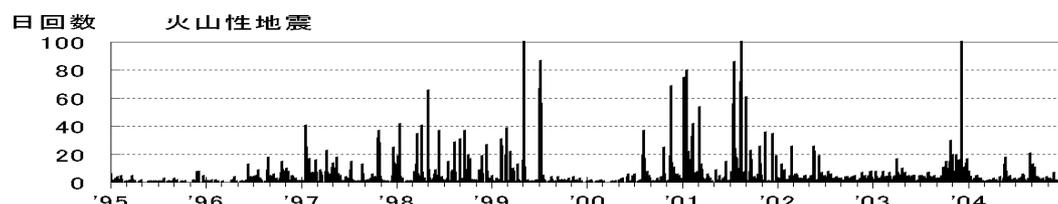
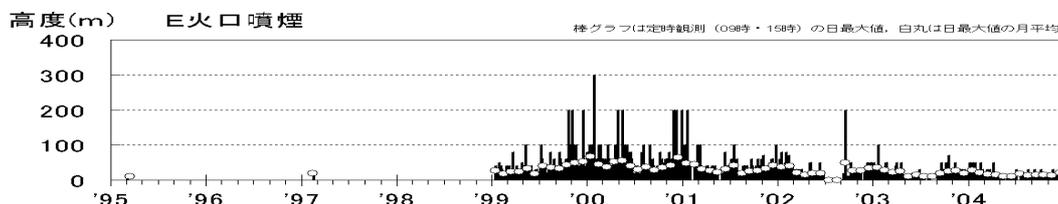
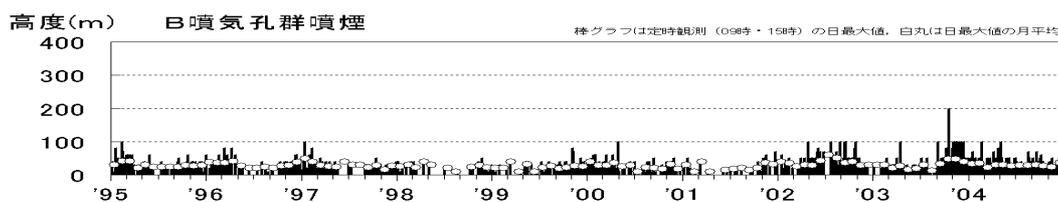
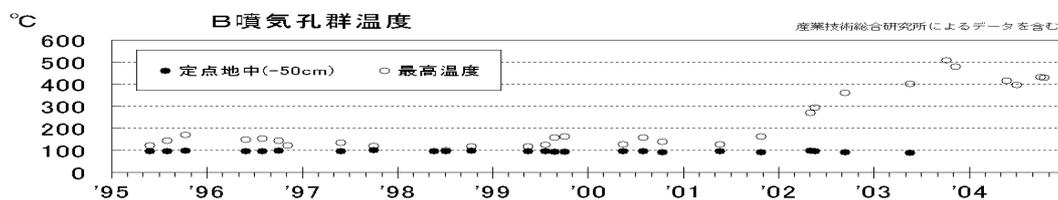
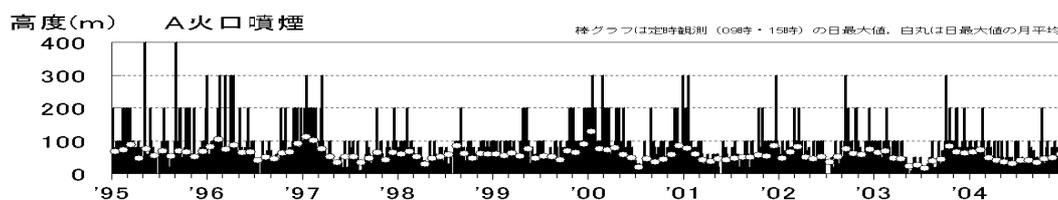
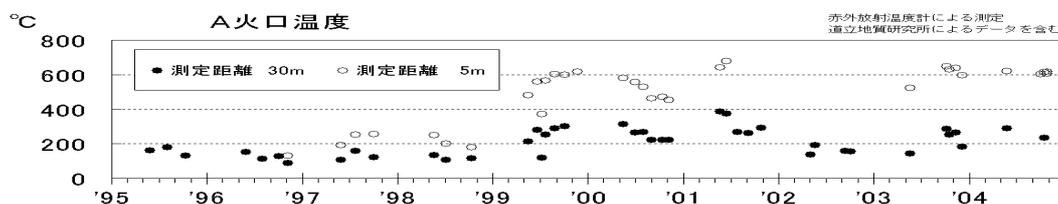
A火口およびB噴気孔群は高温の状態が続いており、火山活動はやや活発な状態で経過しました。火口近傍では引き続き注意が必要です。

平成16年の主な火山活動と火山情報の発表状況

時期	火山活動	火山情報発表状況
	特記事項なし	発表なし

2 噴煙活動の状況

噴煙活動に特段の変化はなく、A火口、B噴気孔群およびE火口の噴煙は概ね100m以下で推移しました。



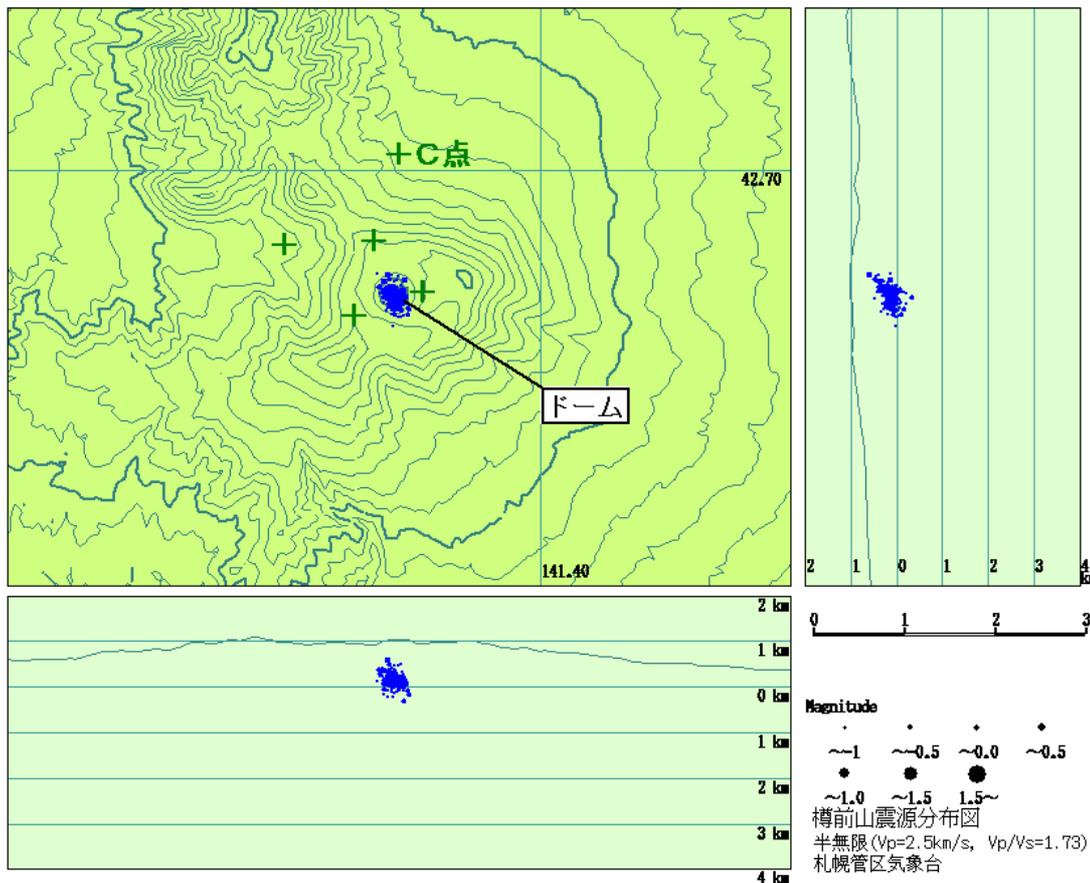
最近の火山活動経過図（1995年1月1日～2004年12月31日）

3 地震活動の状況

火山性地震は、5月と8月に1日あたり20回程度と地震がややまとまって発生することがありましたが、火山性微動の発生もなく、地震活動は比較的静穏に経過しました。震源はほとんどが山頂ドーム直下の浅部（海拔付近）でした。

月別地震・微動回数（C点）

2004年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
地震回数	58	37	10	19	77	34	44	46	81	24	39	25
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



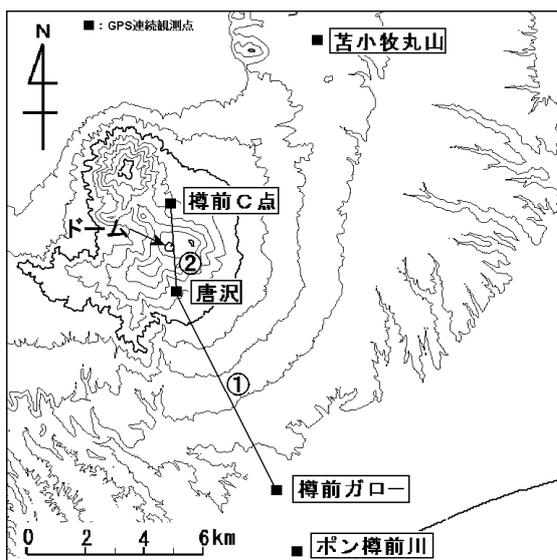
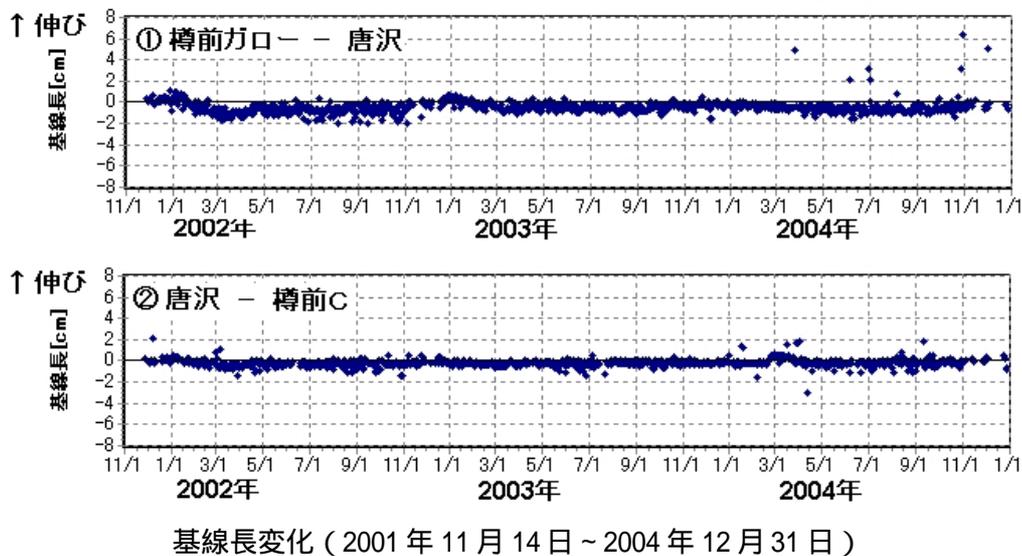
樽前山の震源分布図（丸印：震源、+印：地震観測点）

青丸は2004年1月1日～12月31日の1年間に求まった震源を示しています。

震源は山頂ドーム直下の海拔付近に集中しています。

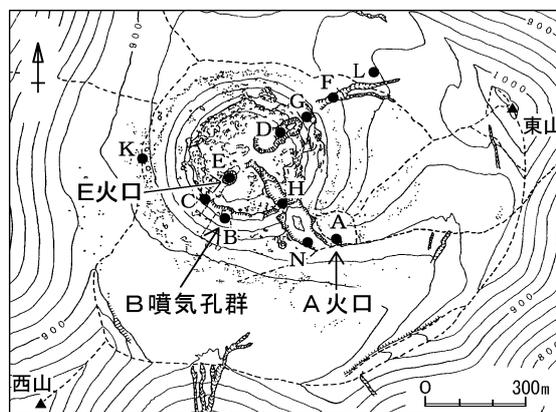
4 地殻変動の状況

GPS 連続観測では火山活動に起因すると考えられる変化はありません。



5 調査観測の結果

5月および10月に実施した調査観測では、A火口では600以上、B噴気孔群では400以上と高温の状態が続いており、噴煙には強い刺激臭が認められました。その他の火口および地熱域に特に変化は認められませんでした。赤外熱映像装置による観測では、熱活動の新たな高まりは認められませんでした。全磁力観測では、火山活動の活発化を示す変動は観測されませんでした。



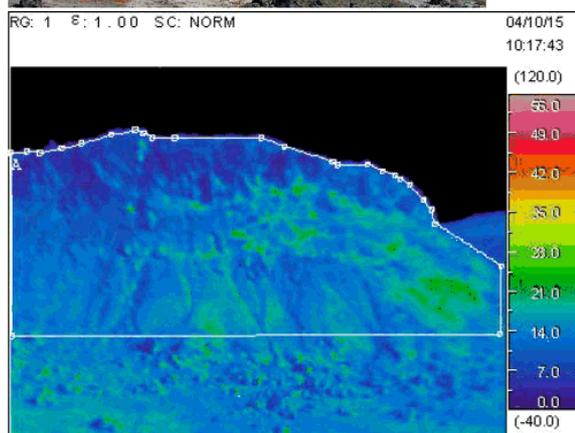
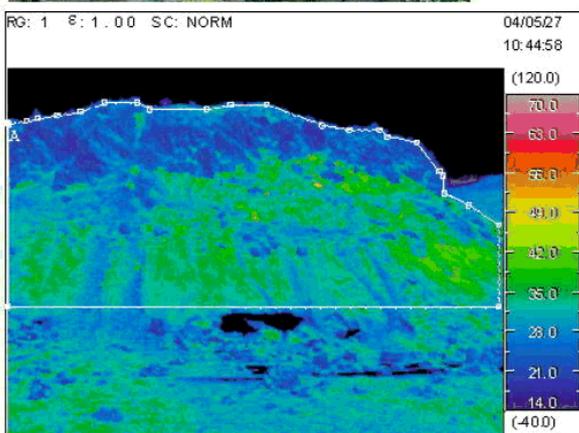
樽前山山頂周辺図



A 火口（10月14日南側30m地点から撮影）



B 噴気孔群の噴気孔（10月15日撮影）

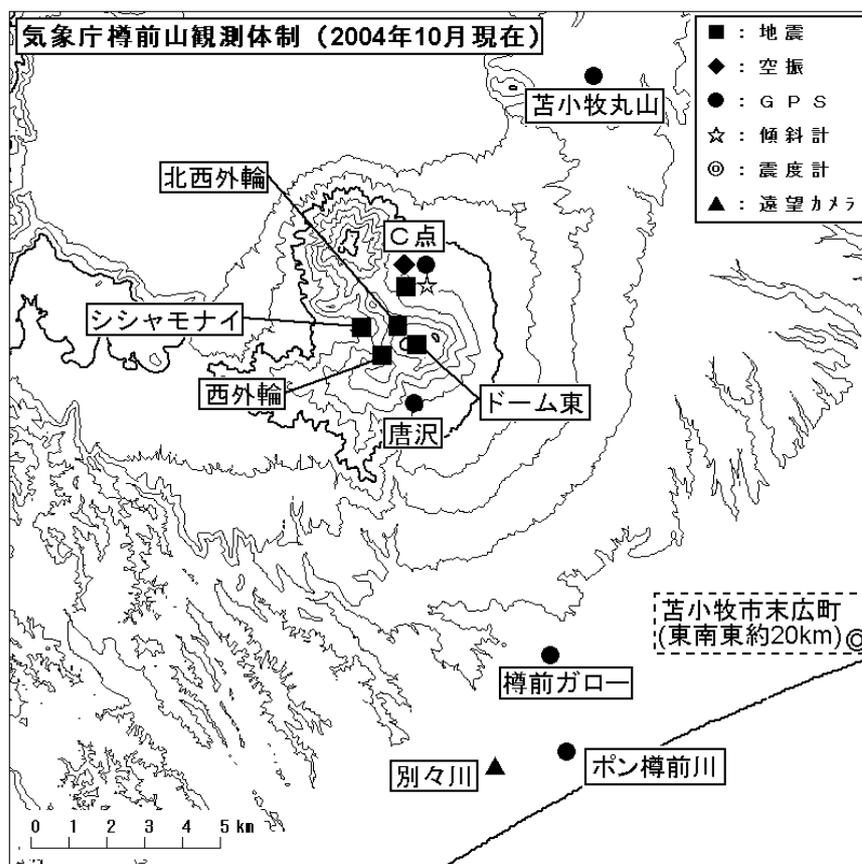


赤外熱映像装置によるB噴気孔群およびドーム南西亀裂の表面温度分布
（左図：2004年5月27日 右図：2004年10月15日）

6 上空からの観測結果

北海道開発局の協力により、5月7日に上空からの観測を実施しました。山頂部は部分的に低い雲に覆われ、詳細な観測はできませんでしたが、各火口の状況に変化はみられませんでした。

観測点情報



観測点一覧表 樽前山

記号	観測機器	地点名	位置			設置高 (m)	観測開始年月
			緯度(度分)	経度(度分)	標高(m)		
	地震計	C点	42 42.1	141 22.9	638	-1	2000年11月
		北西外輪	42 41.6	141 22.7	905	0	1999年5月
		ドーム東	42 41.3	141 23.1	930	0	1999年5月
		シシャモナイ	42 41.6	141 22.0	632	0	2003年9月
		西外輪	42 41.2	141 22.5	885	0	2001年11月
	空振計	C点	42 42.1	141 22.9	638	2	2000年11月
	遠望カメラ	別々川	42 35.3	141 25.2	55	28	2001年2月
	GPS	C点	42 42.1	141 22.9	638	3	2001年11月
		ポン樽前川	42 35.1	141 26.1	10	3	2001年3月
		樽前ガロー	42 36.6	141 25.6	47	3	2001年3月
		苫小牧丸山	42 45.3	141 26.7	240	4	2001年3月
		唐沢	42 40.4	141 23.0	628	3	2001年11月
	傾斜計	C点	42 42.1	141 22.9	638	-12	2000年11月
	震度計	苫小牧市末広町	42 38.1	141 37.0	-	0	2004年10月

(位置は日本測地系の値です)